

東地域まちづくり協議会だより 第33号（最終号）

東地域まちづくり協議会 会長 大嶋 充

「東地区地域学習会」に参加して

令和7年11月15日（土）、北加納コミュニティセンターにおいて、標記の学習会が行われました。内容は、「大人のためのコミュニケーション講座」でした。また、最近話題となっている「アンコンシャス・バイアス」についても学びました。この学習会の企画は、東地区男女共同参画委員の皆様でした。

本学習会を通して、「男女共同参画社会」とはどういうことなのか、ということを理解することができました。また、「アンコンシャス・バイアス」については、お互いに話し合いながら体感的に気づくことができました。



この学習会に参加して、東地域で生活する私たちは、これからも、女性であること、男性であることにかかわらず、「人」としての尊厳を尊重する社会で、あらゆる場で心豊かに生活していくことができる地域を創造していくことが大切であることを学ぶことができました。

「東地域さわやかクリーンサンデー」

令和10月19日（日）は、本協議会設立から大切にしてきた活動の日でした。これは、「自分が、家族や学校・地域社会に対してできることをみつけ、一人ひとりが思い思いに実行する」という活動です。この活動を定着させ、東地域に住む私たちが、よりよい東地域を創造するために、積極的に行動をおこすことができるようになることを願っております。これからも、より爽やかに住みやすい東地域を創造していきましょう。

「コミュニティスクールとしての実践授業」

11月13日（木）、比美乃江小学校5年生による「上庄川の治水授業」が実施

されました。県の河川課から2名、氷見土木事務所からもお招きし、5年生の総合的な学習の勉強で「上庄川の治水について」の授業が行われました。

「コミュニティスクール」とは、学校と保護者や地域の皆様が知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、互いに協働しながら児童生徒の成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みのことです。

この活動が、今後市内におけるコミュニティスクールとしての参考となる事例になることを願っております。



「令和7年度全国自治会連合会本県で開催」

令和7年10月25日（土）、本県（富山国際会議場）に於いて自治会の全国大会が開催され、その席上、氷見市自治振興委員連合会会長の大嶋が自治功労者として表彰されました。

振り返りますと、私は、自治振興委員として11年間、また、その間東地区自治振興委員長・北加納町内会長として10年間、氷見市自治振興委員連合会会長として5年間、そのうち2年間は富山県連副会長として長い間務めさせていただきました。また、2017年・平成29年6月、氷見市内6番目として「東地域まちづくり協議会」を立ち上げ、皆様と今日まで9年間会長として様々な活動に取り組むことができました。中でも、地域活動を効率化する「多機能型自治活動」について、役員の皆様をはじめ地域の皆様の力強いご支援・ご協力により推し進めることができました。心から感謝申し上げます。有難うございました。



【中部地方を代表して受賞】